

2016年4月22日

東京医科大学

工学院大学

東京医科大学—工学院大学 低侵襲治療・診断装置等の開発に向けた共同研究事業開始

～患者の身体的負担を小さくする「低侵襲」治療・診断方法や機器を開発～

東京医科大学（学長 鈴木衛／東京都新宿区）と、工学院大学（学長 佐藤光史／東京都新宿区）は、治療や診断における患者さんの身体的な負担をできるだけ小さくする低侵襲な治療方法や診断装置の新規開発に特化した共同研究事業を開始するにあたり、4月21日、両学長による合意書への署名を行いました。



左から東京医科大学 池田徳彦副学長 鈴木衛学長／工学院大学 佐藤光史学長 鷹野一朗副学長

両学長のメッセージ

東京医科大学 鈴木衛学長

本学創立100周年記念事業として「低侵襲」を中心に据えた展開を考え、そのためには工学系との連携が必要と、工学院大学にお声かけしました。結果、良いマッチングができ、より「患者さんにやさしい」診断・治療となる成果が3年をメドに生まれることを期待しています。

工学院大学 佐藤光史学長

本学の建学の理念である「社会・産業と最先端の学問を幅広くつなぐ『工』の精神」が東京医科大学との共同研究により医学分野へも波及し、私たちの想いが生かされていくことに感謝します。今後、ますますの研究の発展を願っています。

<本件に関する問い合わせ先>

東京医科大学 総務部広報・社会連携推進課 担当：森本・田崎
Tel:03-3351-6141/e-mail:d-koho@tokyo-med.ac.jp

工学院大学 総合企画部広報課 担当：関根・堀口
Tel:03-3340-1498/e-mail:gakuen_koho@sc.kogakuin.ac.jp